

商の見積もり



複雑なかけ算の積を見積もるときには，ふつう，かけられる数もかける数も上から1けたのがい数にして計算します。

〔例〕 次のかけ算の積を見積もってみましょう。

$$731 \times 386$$

731と386を上から1けたのがい数にすると，
それぞれ700と400になるので，

$$700 \times 400 = 280000$$

で，約280000となる．

商の見積もり



複雑なわり算の商を見積もるときには，ふつう，わられる数を上から1けた（または2けた），わる数を上から1けたのがい数にして計算し，商は上から1けただけ求めます。

〔例〕 次のわり算の商を見積もってみましょう。

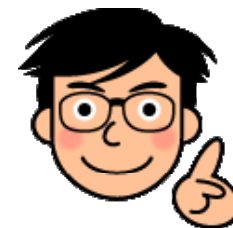
$$24731 \div 281$$

24731を上から2けた，281を上から1けたのがい数にすると，それぞれ25000と300になるので，

$$25000 \div 300 = 83$$

で，約80となる。

積のけた数



整数どうしのかけ算では、積のけた数は、かけられる数のけた数とかける数のけた数の和になるか、それよりも1小さいけた数になります。

例えば、3けた $\times$ 3けたの積は、 $3+3=6$ で、6けたか5けたになります。5けた $\times$ 2けたの積は、 $5+2=7$ で、7けたか6けたになります。

〔例〕次のかけ算で、けた数を見て、積がまちがっているものをさがしてみましょう。

① $431 \times 295 = 127145$

② $931 \times 4011 = 3734241$

③ $57 \times 81220 = 46295440$

④ $5628 \times 1239 = 6973092$

①の積は6けたか5けた，②の積は7けたか6けた，

③の積は7けたか6けた，④の積は8けたか7けた，

だから，③の答えが8けたになっているのはまちがいであることがわかる。